

たけのこ

2019
AUGUST

8

第32号



医療法人 久盛会

秋田緑ヶ丘病院

〒011-0911 秋田市飯島字堀川84番地
TEL (018) 845-2161 FAX (018) 846-6942
ホームページ <http://www.kyusei.or.jp/>



日本医療機能評価機構
認定病院



理念

友情を図り、「生きる喜び」と「希望」を育み、
「安全・安心・信頼の医療」を実現します。

指針

1. 医療の安全と質の向上に努め、患者さんに信頼される医療を提供します
2. 医療人の育成を図り、医の倫理の高揚に努めます
3. 患者さんの人権と個人の尊厳を守り、親切、丁寧な医療サービスに努めます
4. 社会の変化・医療の進歩に対応できるよう自ら研鑽に努めます
5. 医療を通して、地域社会に貢献できるように努めます
6. 精神障がいに対する偏見や誤解の解消に努めます



院内のさくらんぼ狩りの様子



節目

医局長 草薙 宏明

本年4月より医局長をさせていただくことになりました。以前から「長」の付く役職はいつも分不相応だと思いがちで、参りました。その一方で、「これは、分相応になるよう努力せよ」ということなのだ」と自分に言い聞かせて参りました。この度もこれを節目とし、気持ちを新たにしたいと思っています。

節目と言えば、今年は元号が平成から令和に変わり、世の中はあたかも年末年始のような雰囲気だったように思います。平成の約30年間、自分としてはそれほど大きく変わらない毎日を経験してきた気がしていました。しかしよく考えてみると、平成元年当時に実家にあったダイヤル式の固定電話は姿を消し、今や個人個人がスマートフォンを所有しているような状況です。これはかなり劇的な変化と言えます。改めて振り返ると、痛ましい事件や災害、戦争、それでももちろん喜ばしいことも、実にたくさん大きな出来事があり、その中で医療そのものや医療を取り巻く環境は大きく変化してきました。

元号が変わるこの節目を、皆様はどのように過ごされましたでしょうか。私は近所のスーパーの販売戦略にまんまとひつかり、チラシに載っていた「平成のヒット商品」を年代順に食べていったという、何の自慢にもならない過ごし方をしておりました。とはいえ、それらを食べながら同時に思いをはせると、忘れていた出来事が思い出されてきます。その過程で、その当時は思いつかなかった考え方や見方に改めて気付くなどの収穫もありました。一通り過去を振り返った後、来たる新しい時代のことを考えると、今度は期待感のような緊張感のような、身の引き締まる思いも感じました。節目というのは、いろいろなことに気付いたり考えたりするきっかけになるものだ、その大切さを再認識しました。

今回、医局長という形で貴重な節目を与えていただいたことに感謝し、皆様のお役に立てるよう努めて参りたいと思います。改めまして、今後ともよろしくお願いいたします。



笑いヨガ



デイケア科長代理
三浦保毅

デイケアでは、4月から月2回程度、プログラムの一環として、笑いヨガティーチャーの伊藤晴美先生（秋田笑いヨガ・ラフターヨガ）による笑いヨガを行っています。

笑いヨガは「笑うこと」と「ヨガの腹式呼吸法」を取り入れたエクササイズで、ユーモア・冗談・コメディに頼ることなく笑う事ができるプログラムです。ひたすら笑うことは、ストレス解消や免疫力向上に絶大な効果を発揮すると言われており、利用者さんも笑いながら楽しくプログラムに参加しています！



認知症疾患医療センターの新患受診者数が1,000名を超えました

令和元年6月、秋田緑ヶ丘病院秋田県認知症疾患医療センターの新患受診者数が1,000名を超えました。当センターは秋田県から指定を受け、平成27年10月1日より運営開始となった地域型の認知症疾患医療センターです。施設基準で示された認知症疾患医療センターとしての標準的な機能に加え、「認知症の方が尊厳ある生活を地域で営む」を理念に掲げ、認知症の診断・治療はもとより、専門医療相談体制の強化や地域連携の促進を重点機能としたセンター運営を行っています。

皆様からのご協力のもと、000名を超える患者さんの支援に携わることができ、スタッフ一



同感慨深く感じております。今後も、認知症でお悩みの方やそのご家族、各種関連機関の皆様のお役に立てるよう精進してまいります。引き続き当センターの運営にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

身体拘束に関する講演会を開催しました



2019年5月30日に、弁護士浅田眞弓先生（丸ビルあおい法律事務所代表）をお招きし身体拘束等に関連した医療訴訟について講演を行っていただきました。

当院では「身体拘束について考える」ことを2019年の目標の一つとして掲げています。冒頭で後藤時子理事長より、「精神科病院における身体拘束についてはニュースなどで話題になっていますが、拘束は患者さんの権利にも関わる行為です。浅田先生のお話を聞いて、みなさんひとり一人が拘束について考える機会としていただければと思います。」との挨拶がありました。

講演では、医療訴訟について具体的な事例を用いながら、医療機関側として行うべきことや配慮すべきこと、裁判所が判断するポイント等についてお話をさせていただきました。身体拘束に関する事例説明では、患者さんへの対応、処置について、患者さん本人および家族さんへの丁寧な説明や確認が大切であるとの指摘があり、訴訟が起これしまった場合、経緯説明の裏付けとして、診療記録や看護記録をできるだけわかりやすく残しておくことが重要であるとお話をいただきました。

講演後の質疑応答では「どこまで細かく記録を残せばよいのか」「記録を残すにあたってのポイントを教えてください」などの質問が積極的につながり、医療現場のスタッフを含め、参加者全員にとって、身体拘束について学ぶための大変有意義な機会となりました。



外来診療のご案内

心療内科・精神科・内科

◆初診の場合

〈受付窓口〉 受付・総合案内へ
 〈外来診療受付時間〉 平日・土曜日問わず受付は午前 11:30 までにご利用いたします。

〈診療時間〉 平日（土曜日は午前中のみ）
 9:00～12:00 / 14:00～17:00
 土曜日の診療は「第2・第4」のみ行っています。
 但し、救急の場合はその限りではありません。
 （午後には予約制による診療を行っています。）
 ※内科は土曜日休診。

〈必要なもの〉 保険証
 ※受給証をお持ちの方は併せて受給者証を提示してください。

◆院外処方について

当院では外来の院外処方を行っています。ご不明な点につきましては、外来受付までお問い合わせ下さい。

◆2回目以降受診（再診）の場合は

〈受付窓口〉 受付・総合案内へ
 〈必要なもの〉 診察券と保険証

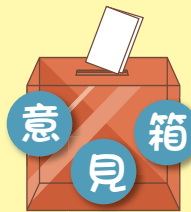
◆専門外来について

「うつ・ストレス外来」「女性専門外来」「もの忘れ外来」「睡眠障害がい外来」「PTSD外来」こちらの外来診療については完全予約制となりますので受付までお電話下さい。

毎月1回は保険証の確認をさせていただきますのでご提示願います。

クレジットカードでの支払いが可能です

サービス向上の1つとして、診療費等の支払いについては、JCB、AMERICAN EXPRESS、VISA 及び MasterCard 等のクレジットカードがご利用できます。クレジットカードが利用できることにより、支払方法の選択肢が広がるほか、現金の持ち合わせがなくても安心して受診できるようになります。



Q&A



Q 給食で足りたんぼを出して欲しい。

A ご意見ありがとうございます。きりたんぼは新米がとれる季節のメニューとして例年10月頃～3月にかけて提供させていただいております。新米の収穫ができる季節まで、今しばらくお待ち下さい。

職員や病棟に関するご意見につきましては、各担当責任者が個別に対応しております。病院運営の参考にさせていただきますので、今後ともご協力宜しくお願いいたします。

こんにちは。新人です！

4月に入職させて頂き、数ヶ月が経過しました。初めての事ばかりで分からないことも多く戸惑うこともありましたが、優しい先輩方に教えて頂きながら日々の業務に励んでいます。これからも先輩方や患者さんからたくさん学び、精神科作業療法への理解を深めていきたいです。そして、患者さんの楽しさを引き出せるような関わりが出来るように努力を重ねていきたいです。まだまだ至らない点も多いと思いますがこれからよろしくお願い致します。



作業療法科
福島 彩香

4月から看護師として西1病棟で勤務し始め早くも数か月たちました。光陰矢の如しという言葉通り、あっという間に過ぎ去っていく毎日の中で少しでも自信を持って業務に臨めるよう充実した日々を送っています。最初は自分の行くべきことが分からず不安になることもありましたがその度に病棟スタッフの皆さんからのアドバイスがあり、私自身多くの人に支えられているのだという感謝の思いがあります。これからも様々なことを学ぶにあたり、多くの迷惑をかけてしまうかもしれませんが、それが糧として患者に良い看護を行えるよう努力し続けたいと思います。



西1病棟
小松 大悟

グループホームあざみの食堂を

リニューアル



グループホームあざみでは、幅広い世代の利用者にも親しんで利用してもらえるように、食堂の改修工事を行いました。明るく落ち着いた雰囲気に生まれ変わることで、入居者のみなさんからも「使い勝手がよかった、居心地がよい」という感想をいただいております。以前よりも食堂で過ごす時間が増えたという方や、新しい共有空間を綺麗に保とうと積極的に環境美化に努める利用者さんが増え、今回のリニューアルが、利用者さんの自立と社会性の向上にも繋がっていると感じています。

グループホーム久盛会では今後も引き続き環境整備を進め、利用者さんが自立した生活を送れるように支援して参ります。

編集後記

今回の「たけのこ」はいかがだったでしょうか。秋田緑ヶ丘病院秋田県認知症疾患医療センターでは、開設してから5年目を迎えるとしておりますが、新規の受診者数が1,000名を超え、一步一步の積み重ねが、今日に至るのだなとしみじみ感じました。

医療法人久盛会では、今年の10月で55周年を迎えます。次号では、それに関連した内容をお届けしたいと思いますので楽しみに！

